



会長 菅原文之  
 幹事 佐々木源悦  
 会報 佐々木崇 佐藤静市  
       高橋利光 渡辺光悦

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2327回例会 2011. 11. 17 No.18

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 100%
- ・前回確定出席率 100%

### ニコニコボックス

- ・菅原文之会長 杉田広仁会員のスピーチに期待して。
- ・小泉洋会員 去る11月13日、妻への誕生日の花いただきました。有難うございました。
- ・飯塚仁哉会員 説法のご利益を得て、私にも精神的な「霊験あらたかなるよう」に期待致します。
- ・阿部泰彦会員 杉田広仁会員のスピーチに期待して。本日、会議のため早退。
- ・佐々木源悦幹事以下、杉田広仁会員のスピーチに期待して。  
 鈴木彦太会員 布施孝之会員 佐々木崇会員  
 佐藤敬喜会員 山田直志会員 菅野幸一郎会員  
 佐藤静市会員 遠藤光則会員 熊谷敏明会員  
 武川毅会員 高橋義文会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 菅原文之会長

11月12日(土)、塩釜RC創立60周年記念式典が開催され、八谷郁夫パストガバナー、鈴木彦太会員、布施孝之会員、江川元徳会員、阿部賢悟会員と出席致しました。記念講演として、いま日本が直面している内外の課題、中国脅威論を櫻井よし子さんが熱弁されました。式典は、私が今まで出席した中で最も盛大でした。来賓の数も大変多く、菅野多利雄元RC理事の最後の意気込みを感じさせる内容と規模でした。会場の周囲は津波の傷跡が生々しく残っていました。そんな中での塩釜RCの60周年記念式典は、大震災を乗り越えて復興の第一歩に塩釜RCはするのだというクラ

ブの強い決意を表わしたと言っておりました。ほんとうに、その様な式典でした。

佐沼RCとして正式にホームページを開設することに致しました。小野寺伸浩会員のご協力ご指導でやっと開設までごぎつめました。ありがとうございます。この度、八谷郁夫会員がポールハリスベネフェクターになりました。

### 幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ガバナー事務所より
  1. 小野寺則雄ガバナーエレクト壮行会  
 日時 12月11日(日) 12:00~14:00  
 場所 メトロポリタン盛岡 ニューウィング  
 登録料 8,000円
  2. 「10月26日付各ロータリークラブ被災・支援状況の報告」について
  3. 奉仕プロジェクトセミナー終了時間変更の通知
  4. 「ロータリー財団ハンドブック」発行の案内
  5. 復興特別稟議書の訂正について
- ・登米市民生活部環境課より、合同会議の案内  
 日時 11月18日(金) 13:00~  
 場所 登米市役所南方庁舎 2階中会議室
- ・ロータリーの友事務所より  
 「ロータリーの友」英語版が届く
- ・本日、例会終了後理事会を開催します。

### 各委員会報告

- ・会場監督 (熊谷敏明会場監督)  
 本日、席替えをしました。今回は委員会ごとのテーブルになっています。11月~2月の4ヶ月間です。
- ・復興支援特別委員会 (八谷郁夫委員)  
 アメリカのモンタナ州と進めていましたMGが成立致しました。#75915、#75895の2点で佐沼RCは、

15,600円を供出します。総額6,600,000円で財団から最終的なクラブに対する承諾書が届きましたので回覧します。1ヶ月半位かけて向こうとやりとりして文を作成して提出しました。

### 誕生祝 (11月に誕生日を迎えられる会員)

秋山茂夫会員 熊谷敏明会員



11月に誕生日を迎えられる会員

### ◎認証品(バッチ)の贈呈

ポールハリスベネフェクター 八谷郁夫会員へ



八谷郁夫会員へ、ベネフェクターのバッチ贈呈

### 今週のスピーチ

#### 「日常使われている仏教語の話」 杉田広仁会員

仏教は長い歴史を持っていますので、日本でも仏教に関する用語が日常たくさん使われております。それを今日はお話してみたいと思います。

仏教語という言葉は広辞苑には出ておりません。一般的に仏語、仏言という言い方をいたします。しかし最近では、仏語や仏言はちょっと古い言葉となって分からないというので、仏教語という言葉が使われます。これは、仏教を研究する先生が「仏教語大辞典」を出したり、坊さんが話しやすいので仏教語ということで造り出した新造語という形です。

広辞苑の中に出てくるのは、仏語—仏の教えた言葉、仏教に用いる語(仏言)だけです。一般的に仏教で使われる仏教用語だと思っていたと思います。長い歴史を持ちますので当然日本の中の日常会話の中にそれが使われるようになってきました。

仏教はインドで興ったお釈迦さんが開いた宗教ですが、それが中国に渡り、そして古くは朝鮮半島を通過して、日本に來ます。しかし、唐の時代になりますと直接唐から日本に仏教が伝わり、仏教の知識が伝わって参ります。インドから伝わったものは中国で

漢訳されます。その時に音写された言葉、漢字には勿論意味がございすが、ただ意味なく音写された言葉もたくさんあります。その漢訳された経典を用いて展開しているのが、日本の仏教ということになります。

サンスクリット語は、古代、中世インドで公開語として用いられた言語で、インド・ヨーロッパ語、インド・イラン語派に属し、梵語とも呼ばれ、完成された、完全な言葉を意味しています。日本における仏教語は、サンスクリット語を音写(漢訳)したものが多く、今回は心に関するものを思いつくままに選びました。

- ・芸能人への御祝儀の「花」・花代・はなむけ(銭) — 「パナ」(金銭の意味)
- ・男性性器の「まら」 — 「マール」(悪魔の意味) 修行の妨げになるもの
- ・幡(旗) — 「パタ」
- ・瓦 — 「カパーラ」
- ・甍(瓦の古語) — 「イタッカ」(サンスクリットの俗語)
- ・塔婆・卒塔婆 — 「トーパー」「ストーパ」仏舎利塔
- ・旦那(檀那) — 「ダーナ」

漢文に訳されて、日本に伝わって最近日常で使われている語と特に心で、夫婦間でこういったことが大切なのかなと、日本の夫婦に於いてはこういうことが大切なのかなという思いを考えて3つほど選んでみました。

・阿吽(あうん) — 「阿」は口を開いて発する最初の字音、「吽」は口を閉じて発する最後の字音。言葉の最初の「あ」、言葉の終わりの「ん」。サンスクリット語も「ア」で始まり「ン」で終わります。日本語の「あいうえお」も「あ」で始まって「ん」で終わります。一般的にものの最初と最後のこと。

「阿吽の呼吸」 — 呼吸がぴったり合う場合。一緒にする時調子や気持が一つになること。正に夫婦は阿吽の方が良いのでその様な努力をしていただきたいと思います。生まれる時は「あ」で生まれ、亡くなる時は「ん」で亡くなるとも言われています。

・以心伝心(いしんでんしん) — 言語表現を絶した「さとり」の境地を心をもって伝えるということ。「さとり」の境地というのは禅語で「悟の境地は言葉で表わせない」ということを言っております。私達が何か大切な悟りの気持を伝えること、これは言葉でなくて心で伝えるものだという禅宗の考え方です。言わずとも自らの気心が相手に伝わること。

・言語道断(ごんごどうだん) — 最近では、「とんでもない」「もつてのほか」「ふとどき」と言ったような、ちょっと怒った時に使いますが、実際は言葉では表わせないもの、言葉を越えたもの、そういったものを言います。言葉では説明できない悟りの世界を言います。仏教の奥深い真理は言葉で説明することの出来ないこと。言葉ですからその時の時代に於いて変わってきてしまっていますが、仏教用語として使うときは、その様な世界を表わします。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。